



母の愛を求め続けた青年が起こした実話

母さんが
どんなに
僕を嫌い
でも

©2018『母さんがどんなに僕を嫌いでも』製作委員会

出演:太賀 吉田羊/森崎ウィン 白石隼也 秋月三佳 小山春朋 斉藤陽一郎 おかやまはじめ 木野花 ほか/監督:御法川修
原作:歌川たいじ「母さんがどんなに僕を嫌いでも」(KADOKAWA刊)
《2018年作品(日本) 上映時間104分 字幕なし》

日時

2019.

8.25 [日]

10:00~11:50 ころ(開場 9:40)

無料・申込不要/定員135名

入場は先着順です

ときわプラザ

徳島県立男女共同
参画交流センター

2階 ブライダルコアときわホール

徳島市山城町東浜傍1-1(アスティとくしま内)

■ 令和元年度フレアキャンパス講座 ■

当講座は、県立総合大学校「まなびーあ徳島」
男女共同参画学部の主催講座です。

主催/ あいぽーと徳島 (徳島県立人権教育啓発推進センター) / ときわプラザ (徳島県立男女共同参画交流センター)
指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット

主催・お問い合わせ

あいぽーと徳島

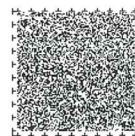
徳島県立人権教育啓発推進センター

指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット

〒770-0873 徳島市東沖洲 2-14 沖洲マリンターミナルビル内

TEL: 088-664-3719

FAX: 088-664-3727



[音声コード]



嫌僕ど母
いをんさん
でもなにが

母の愛を 求め続けた青年が 起こした実話



©2018『母さんがどんなに僕を嫌いても』製作委員会

STORY

タイジ(太賀)は幼い頃から美しい母・光子(吉田羊)のことが大好き。手間暇かけてつくってくれる混ぜご飯はタイジの大好物だ。だが、家の中にいる光子はいつも情緒不安定で、タイジの行動にイラつき、容赦なく手を上げる。夫との離婚問題が浮上し、光子はタイジがいると不利になると思い、タイジは9歳にして児童保護施設へ入れられてしまう。1年後、良い条件で離婚した光子は、タイジとその姉・貴子連れ、新しい家に出て行くが、そこでもまた不安定な生活を送るようになる。17歳になったタイジは、ある日光子から酷い言葉と暴力を受けたことをきっかけに、家を出て1人で生きていく決意をする。

ただ、日々を生きているだけのタイジだったが、幼い頃に唯一自分の味方してくれた工場の婆ちゃん(木野花)と再会し、自分を今も思ってくれる強く優しい想いに心を動かされる。努力を重ね、一流企業の営業職に就いたタイジは社会人劇団にも入り、金持ちで華やかだが毒舌家のキミツ(森崎ウィン)と出会う。容赦なくモノを言うキミツに戸惑いながらも、次第に心を開いていくタイジ。会社の同僚・カナ(秋月三佳)やその恋人の大将(白石隼也)とも次第に打ち解けていく。大人になって初めて、人と心を通わせる幸せを感じたタイジは、友人たちの言葉

から、自分が今も母が好きでいる事に気づき、再び母と向き合う決意をする。

長らく絶縁状態だった光子から連絡を受けたタイジは、光子の再婚相手の葬儀に出席するも冷たくあしらわれる。しかし、自分から変わることを決めたタイジは、食事をつくりに家へ通うなど母に寄り添い、もっと母のことを知ろうと叔母のもとを訪ねる。そこで聞かされたのは、母の幼い頃の苦勞。少しずつ距離を縮めていくタイジだったが、光子が亡き夫の残した莫大な借金を背負っていることを知る。借金を巡って口論になった光子とタイジ。光子は弱っているながらも、またタイジを拒絶する。しかし、そんな光子を見てタイジが取った行動は…。

太賀 吉田羊

森崎ウィン 白石隼也 秋月三佳 小山春朋 斉藤陽一郎
おかやまはじめ 木野花 ほか

監督：御法川修

原作：歌川たいじ

「母さんがどんなに僕を嫌いても」(KADOKAWA刊)

2018年 / 104分 / 5.1ch / シネマスコープ



車イス席のご利用を
ご希望される場合

事前に「あいぽーと徳島」まで
ご連絡を下さい



ヒアリンググループを
設置しております

イヤホンが必要な方は、受付で
お申し付け下さい(数に限りがあります)



無料託児あります【申込制】

対象：1歳から就学前までのお子さま

託児所申込先

ときわプラザこども室
Tel.088-655-4638